

## 人口

## 理由

人口については、「市民1人1日あたりのごみ量」などのごみ排出量を表す指標の一つとして利用されており、ごみ処理基本計画においても、より実績に近い人口予測が求められている。

## 現状

## 伊勢市の人口予測と実績値

年度	R 1 (2019年)	R 2 (2020年)	R 3 (2021年)
人口予測(見通し) (伊勢市人口ビジョン)	122,070人	120,457人	119,469人
実績値 (住民基本台帳人口)	125,043人	123,853人	122,580人
差異	2,973人	3,396人	3,111人

実績値(年度末の住民基本台帳人口)と予測人口(見通し:伊勢市人口ビジョン)との数値に差異が生じている。



人口予測についても修正を行いたい。

## 改訂案

## ★人口予測の修正

- ・修正人口ビジョン → H27～R3までの人口実績をベースに、当初予測(人口ビジョン)の補正を行う。
  - ・補正方法 → 人口の将来予測については、トレンド法やコーホート要因法により行うことが適当(環境省「ごみ処理基本計画策定指針」より)。
- ⇒ 内閣府、国交省など国の機関においても多く採用されている  
コーホート要因法を採用し、将来人口の補正を行う。

※トレンド法…過去の動態が将来も同じように推移するという考え方による推計方式。

※コーホート要因法…同じ年や同じ期間に出生した人々の集団を「コーホート」と呼び、各コーホート毎に「自然増減」(出生と死亡)及び「純移動」(転出入)という二つの「人口変動要因」それぞれについて将来値を仮定し、それに、基づいて将来人口を推計する方法。